まつばら歴史さんぽ vol.10

松原戦争碑紀行

松原市域に残る
明治から昭和戦前（～一九四五）まで
戦争に従軍した人々の
紀念碑や忠魂碑などを訪れ、
平和の尊さを心に刻みます。

平和の像
松原中央公園(田井城1丁目)

松原市議会が昭和59年(1984)6月28日に本市を戦争のない「非核平和都市」と決議した。これを受け、翌昭和60年(1985)8月15日、市制30周年を記念して、本像が松原中央公園に建てられた。
台座に「非核平和都市」「松原市」とあり、少女が平和のシンボルである鳩を両手にかざしている。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から一年が経ちました(二〇二三年二月)。日も早く、平和の訪れを願ってやみません。

わが国は、戦後八十年近く、民主国家として発展しています。しかし、明治・大正時代を経て、昭和二十年(一九四五)の終戦まで悲惨な戦争を体験してきました。

明治二十七～二十八年(一八九四～九五)の中国・清と戦った日清戦争。明治三十七～三十八年(一九〇四～〇五)のロシアとの日露戦争。大正時代の第一次世界大戦を経て、昭和六年(一九三一)の満州事変から、昭和十二年(一九三七)の日中戦争。続く昭和十六年(一九四一)の太平洋戦争(第二次世界大戦)の開戦で、戦時体制に突入したのでした。

松原市域でも、日清戦争以降、各村々から多くの人々が戦地に送り出されました。やがて戦後、出征兵士を銘記した紀念碑や戦死した人々の忠魂碑が各地に建立されました。現存する戦争碑を訪れ、平和の尊さをかみしめたいと思います。

市民憲章
(昭和52年10月28日制定)

私たちは、松原市民であることに誇りと希望を持ち、古い歴史と伝統をうけつぎ、平和で明るく住みよい明日の「まつばら」をきずくため、この憲章を定めます。

- ◆隣人と仲良くしお互いの人権を尊重します
- ◆歴史と伝統を重んじ郷土の発展につくします
- ◆健康で良識のある市民になるよう努めます
- ◆家庭を愛し働く喜びをもって平和な社会をつくります
- ◆きまりを守りよりよいまちを次の世代に渡します

松原市域の日露戦役紀念碑一覧

日露戦争 明治37～38年(1904～1905)

※□表示は判読できない文字

村名・場所	建立年代(人数)	紀念碑に刻まれた人名
松原村 上田1丁目 阿保茶屋交差点西南角 	 織谷善吉墓 (阿保墓地) 明治39年(1906) 5月(123名)	(戦死者)織谷善吉・(戦死者)北田喜太郎・吉村良造・伊東丑松・岡田安松・松村富吉・大門伊三郎・井倉益次郎・保田芳五郎・西田藤太郎・伊東長次郎・田仲長次・小森末吉・多田多三郎・伊藤福松・土師常治郎・柴田恒雄・清原定雄・松田留吉・中岡嘉子郎・岡田好三郎・淺田勝治郎・松野保太郎・島田菊松・今田留吉・保野與吉・柴田増吉・淺田淺太郎・森田善三郎・淺田友吉・山口亀太郎・土師甚蔵・伊藤勝治郎・小森瀧次郎・小森常太郎・原田恒吉・松野留吉・岩崎藤吉・川本徳松・土師幸治・小森米蔵・土師永吉・千賀了嚴・高田卯之吉・岡沢奈良吉・山口芳吉・寄田若松・中野甚蔵・土師清三郎・西田奈良吉・藪中房吉・田中福・中川竹松・伊藤松次郎・早川幸治郎・西田伊三郎・西田徳松・田中鶴吉・倉橋虎吉・家口亀吉・松野善太郎・高橋豊治・淺田辨造・山下淺吉・芝田善造・團井作治・岡田卯之吉・西田梅蔵・田中庄七・信田力弥・山口辰蔵・保野繁太郎・北川伊三郎・伊藤定吉・田中留吉・菱田岩松・中野米吉・芝田甚造・西田駒治郎・淺田辰太郎・小森能蔵・柴田茂治郎・田中芳太郎・池下庄太郎・松野亀吉・松野敬次郎・菱田熊蔵・藤本法教・保田新兵衛・小森平治・田中國松・西田石松・松永豊三郎・福島松次郎・田中岩吉・山間岩吉・芝田留吉・森川民造・福島菊太郎・林甚三郎・森田常三郎・杉本幸太郎・萩田周次郎・土師吉太郎・岡田豊松・吉村專太郎・山田義蔵・樽井淺吉・岸本留蔵・西田治良吉・織谷庄三郎・田守丑松・西田亀太郎・吉村和逸・田中芳太郎・松田常治郎・呉松松次郎・村尾國松・西田松治郎・多田鶴松・小森駒吉・田仲善次・小森二郎 (年齢順)
天美村 大阪市東住吉区矢田7丁目 阿麻美許曾神社	明治40年(1907) 2月8日(32名)	〈大字城連寺〉長谷川常三郎・松本寅吉・北田辰造・梅川榮太郎・阪田梅吉 〈大字池上〉紀田淺太郎・永田末吉・土橋忠二・樋口繁造・三木吉蔵・辻木重造 〈大字池内〉南野末吉・浦井政次郎・岸田丑松・藪内芳太郎・島田末吉・油谷重次郎・大津□太郎・奥田丑松・中谷末吉・□中徳松・辻田駒吉・吉田留吉・太田寅松・大浦淺吉・□□藤太郎・島田松次郎 〈大字芝〉宮内甚四郎・宮□大三郎・樋口□三郎・山岡太右衛門・吉田□三松
布忍村 北新町2丁目　布忍神社 布忍神社 左:「忠霊録」(昭和9年) 右:「忠霊録」(昭和16年)	建立年月不詳 (63名) 大縣和吉墓 (三宅・別所墓園) 明治39年(1906) 5月(47名)	〈歩兵科〉寺内竹松・寺内久吉・寺内辰蔵・山本繁七・北野竹松・井阪栄吉・北野平三郎・百石音吉・森本芳治郎・野村辰次郎・寺内熊治郎・平野鶴太郎・大西増次郎・横田徳蔵・寺田常次郎・故大橋徳治郎・故寺内平蔵・大橋捨松・横田利一郎・田中米吉・中川留吉・永田新三郎・永田真英・寺内字三蔵・寺内由松・池田幸三郎・酒井繁七・下岸彦太郎・木下梅吉 〈砲兵科〉故寺内寅吉・藤本豊太郎・北野磯七・堤好太郎・辻菊松・石川関次郎 〈工兵科〉井阪辰蔵・中野亀太郎・酒井嘉吉 〈輜重兵科〉寺内利逸・故中野甚蔵・山阪忠吉・堤鶴吉・西藤松・脇田鶴吉・太田齋太郎・黒田徳太郎・山口宇三郎・山田丑吉・熊谷菊松・池田幸次郎・大伴徳松・小林幸次郎・北野淺三郎・池田政吉・寺内勝次郎・森井半太郎・音野乙松・池本角次郎・二井周次郎・竹本政太郎・竹田作太郎・村岡米松・藤本博蔵
三宅村 三宅中4丁目　屯倉神社 		〈正面〉正木末吉・花咲鶴松・出口淺太郎・松村三五郎・梅川吉太郎・種村卯之松・土井吉太郎・高田松之助・井上慶次郎・柴山源吉・西太次郎・秦奎秀・北中久吉・吉井好松・稲田荂造・辻野三五郎・正木芳松・平井文三郎・中川米蔵・高田伊一郎・松村留三郎・寺本淺太郎・上村豊四郎 〈右側〉水田豊吉・辻荂太郎・赤阪梅吉・小林熊治郎・福岡亦次郎・中野平吉・稲田伊三郎・竹村松太郎・日根松之助・豊浦安吉 〈左側〉□□福三郎・松本千太郎・本田佐太郎・辻野勝次郎・大浦伊三郎・池内安吉・中川徳□・□池好太郎・藤田□吉・辻本□治郎 (戦死者)大縣和吉・砂本無盡・樋上力蔵・光野伊二郎
北八下村河合 **丹南村丹南** 堺市美原区菅生 菅生神社	明治39年4月 河合:(4名) 丹南:(10名)	【北八下村大字河合】 福岡清蔵・中瀬慶次・小林貞次・山本猪三郎 【丹南村大字丹南】 田淵吉松・田淵亀太郎・山本昇三郎・小池一郎・山本由三郎・植村伊三郎・松川千松・山本房吉・小池重蔵・松川喜代蔵 ※河合・丹南の人名は「日露戦役南河内郡出征軍人伝記」(明治42年3月 南河内郡教育会)より。ただし、紀念碑は村名の合計であり、大字ごとには記されていない。

※既シリーズ ①「道しるべ紀行」(2014年) ②「樹木紀行」(2015年) ③「史跡・文化財紀行」(2016年) ④「水辺の野鳥紀行」(2016年) ⑤「松原名所ぶらり紀行」(2017年 ⑥「祭り紀行」(2018年) ⑦「松原お寺紀行」(2019年) ⑧「河内大塚山古墳紀行」(2020年) ⑨「反正天皇ゆかりの地紀行」(2021年)

発行:松原の歴史を知る会　松原市上田5丁目4-1 / (一財)松原市文化情報振興事業団　松原市上田7丁目11-19　文:西田孝司
協力:松原市・松原市教育委員会　参考文献:「松原市史」第2巻、松原市広報「松原歴史ウォーク」103号・108号・219号・309号・310号
発行日:2023年3月30日

まつばら歴史さんぽ

「松原戦争碑紀行」

各碑には、それぞれ管理・関係者がおられます。敬意を持って訪れてください。

1 天美村「日露戦役従軍記念」碑

明治40年12月8日建立

【阿麻美許曾神社(大阪市東住吉区矢田7丁目、天美村の氏神)】

本殿前に二本一対の注連柱(しめばしら)があり、裏面に「日露戦役従軍記念」と刻む。陸軍中将の男爵浜木惟昭(はまぎのこれあき)の書。茨木は和歌山県出身で、貴族院議員もつとめた。明治40年(1907)12月8日の建立。表正面には「神威蓋四海」「誠貫天地」と刻む。裏面に「軍人」「奉建」「社司若宮春陸」とあり、大字城連寺5人・大字池上6人・大字池内16人・大字芝5人(以上天美村)、大字枯木11人・大字矢田部17人・大字富田11人(以上矢田村、現大阪市東住吉区)の名前がある。天美村のうち、阿麻美許曾神社の氏子である城連寺・池上・池内・芝の人名を記す。天美我堂の氏神は我堂八幡宮。堀の氏神は布忍神社であり、同碑には含まれない。

2 天美村「忠魂碑」

昭和12年5月建立

【天美小学校南東側(天美東8丁目)】

天美小学校南東側に建立。正面中央に縦書で「忠魂碑」とある。その左側に「陸軍大将井上幾太郎(いのうえいくたろう)書」と縦書で記す。向かって右側面に縦書で「二千五百九十七年五月建立」「帝国在郷軍人会(ていこくざいごうぐんじかい)天美村分会」とある。皇紀の2597年5月。つまり昭和12年(1937)5月に建立された。忠魂碑のすぐ右下に世話人などを記した石碑がある。天美村大字池内の浦野健二郎(うらのけんじろう)が分会長をつとめた。中国・盧溝橋(ろこうきょう)で起こった爆発事件を契機に、その2か月後の7月に日中戦争が始まった。在郷軍人会天美村分会が、当時の在郷軍人会長(昭和12年～20年)で、陸軍大将であった井上幾太郎に揮毫してもらったことがわかる。

3 布忍村「日露戦役記念」碑

建立年月不詳

【布忍神社(北新町2丁目)】

駐車場の背後に建てられている。昭和29年(1954)に布忍小学校地から移転された。正面に「日露戦役記念」と縦に刻む。裏面上方に「明治参拾七八年戦役記念碑」と横書きる。その下に歩兵科29人、砲兵科6人、工兵科3人、輜重兵科25人を5段14行にわたって縦書する。向井・高木・清水・更池・東代から成る布忍村の碑である。東側に昭和9年(1934)5月20日建立の布忍村「忠霊録」があり、明治10年(1877)の西南戦争に従軍し、熊本の二俣で戦死した清水の松下友吉の名も刻まれる。右に昭和16年(1941)の「忠霊録」もある。(背面)

4 松原村高見「行幸記念」「高見在郷軍人」碑 昭和7年11月建立

【高見神社(高見の里3丁目)】

在郷軍人とは兵役を終わった後も、戦争が起こった際には召集される軍人をいう。明治43年(1910)、軍事訓練と国民統制のため、帝国在郷軍人会が各地にできた。昭和7年(1932)11月13日、北八下村河合の帝国女子薬学専門学校(現大阪医科薬科大学)が陸軍特別大演習の野外総監部となった。昭和天皇が視察される予定だったので、行幸記念碑を隣村の松原村高見の在郷軍人が建てた(実際は関院宮載仁(かんいんのみやことひと)親王が視察)。高見神社鳥居の左側に2基の石碑がある。右側表面に「陸軍のマーク(☆)、行幸記念」と刻む。左側表面には「陸軍マーク(☆)、高見在郷軍人」とある。裏面は「昭和七年十一月建立」と記す。

阿保茶屋「御大典記念」碑(昭和3年)

5 布忍村更池「特別大演習警備記念 更池消防組」碑

昭和7年11月13日建立

【はーとビュー(南新町2丁目)】

昭和7年(1932)11月13日、河内平野で陸軍特別大演習が行われた。その際、北八下村河合にあった帝国女子薬学専門学校(現大阪医科薬科大学)に野外総監部が置かれた。当初、昭和天皇が河内に行幸される予定だったが、お風邪のため来られず、参謀総長の閑院宮載仁(かんいんのみやことひと)親王が視察した。河合の隣村の布忍村更池では、消防組がその際の警備にあたったことから、同年月日に記念碑が新池(現はーとビュー)西側に建てられた。表面上部に「特別大演習警備記念 更池消防組」と2行に横書きされる。その下に発起人として、布忍村長の寺内憲治や更池区長の藤本藤一郎などの名を刻む。続いて消防組組頭の石川関次郎・小頭7名や消防手28名が3段にわたって見られる。下段に「當村石匠石覺(いしかく)支店」と記す。裏面は「昭和七年十一月十三日」と縦書する。新池の埋め立て後、同地に移転し、入口東側に建つ。

6 三宅村「日露戦役記念碑」

明治39年5月建立

【屯倉神社(三宅中4丁目)】

屯倉神社境内の南西角に記られている行者堂や地蔵堂の北側に建てられている。正面に「日露戦役記念碑」と縦書する。平らな基壇石の正面に23人、右側面に10人、左側面に戦死者を含めて14人の従軍者の氏名を記す。三宅村一村の碑である。(背面)

7 恵我村「忠魂碑」

昭和12年12月建立

【恵我小学校西北側(大堀2丁目)】

恵我小学校の西北側に建立。正面中央に縦書で「忠魂碑」とある。その左側に「陸軍大将井上幾太郎(いのうえいくたろう)書」とやはり縦書で記す。裏面に縦書で「昭和十二年十二月建立」とある。井上は日露戦争に出征し、第3師団長や航空本部長などを歴任。陸軍大将となり、のち昭和12～20年(1937～45)まで在郷軍人会会長をつとめた。大堀・別所・一津屋・小川・若林から成る恵我村戦死者の慰霊碑である。

8 松原村「忠魂碑」昭和10年4月建立

【阿保茶屋交差点西南角(上田1丁目)】

阿保茶屋「日露戦役記念碑」と並んで石碑が建てられている。正面上部に横書で「忠魂碑」とあり、その下に寄田寅次郎を筆頭に1段目に10人、2段目に10人、3段目に4人、計24名を刻む。左端下段には縦書で「昭和十年四月建立」とある。満州事変(昭和6・1931年)勃発の4年後の昭和10年(1935)4月に松原村戦死者を弔うために建てられた。寄田寅次郎は松原村阿保の人。近衛歩兵上等兵で明治28年(1895)7月3日、日清戦争に従軍し、台湾基隆(キールン)で病死している。吉村為造は同村田井城の人。近衛歩兵一等卒として日清戦争に従軍して帰還後、東京で病死した(明治28年)。翌年、田井城の有志によって田井城墓地に墓碑が建てられた(現在は消失)。橋本勝吉は同村高見の人。近衛歩兵一等卒で、日清戦争最前線の清国・盛京省柳樹屯(リュウジュトン)で戦死(明治28年)。同碑には日露戦争に従軍した人の名は刻まれていない。

9 松原村「日露戦役紀念碑」

明治39年5月建立

【阿保茶屋交差点西南角(上田1丁目)】

長尾街道と中高野街道交差点の阿保茶屋西南角に所在する。明治39年(1906)5月に建立。上部に「日露戦役紀念碑」。その下に「松原村出征軍人」と横書する。その下に縦書で「石松」とある。阿保・田井城・高見・上田・新堂・岡・立部・西大塚から成る松原村の碑である。同地入口には、昭和3年(1928)11月に在郷軍人松原村分会が建てた「御大典紀念」碑もある。

10 河合・丹南「日露戦役、従軍紀念碑」

明治39年4月建立

【菅生神社(堺市美原区菅生)】

堺市美原区菅生の菅生神社境内南西側にあるが、松原市域の南河内郡北八下村河合や丹南村丹南の従軍者を刻む。明治39年4月の建立。正面に「日露戦役」「従軍紀念碑」と二区画に記す。書は大村屯。裏面に「従軍者」として、南河内郡の平尾村75人・狭山村72人・野田村52人・黒山村58人・金岡村78人・南八下村60人・北八下村43人・丹比村47人・三都村40人・日置荘村33人・丹南村38人・大草村25人と氏子村別に人数を縦書に並べている。河合や丹南は、河合神社や丹南天満宮とは別に、菅生神社との関係も持っていた。